Web講習会2021 ワールドワイドウェブ発展

ガイダンス



担当

Arthur

情報理工学院情報工学系 4年 (?) Titech App ProjectのWebサイトを開発しています



Arthur1

https://arthur1.github.io/

他の所属

工大祭実行委員会 ネットワーク局 OB 情報理工学院バスゼミスタッフ OB 小野(峻)研究室 (MDILab)



2020.03.08. グローバルシステム開発研修 with @nisizaki 先生

実施方針

コーディング課題を出す予定は基本ありません

ただし、自分で手を動かすのは大事

講習会や各自の学習で得た知識をもとに、好きなように制作してみましょう (それに関する質問やコードレビュー、ペアプロの依頼も受け付けます)

基本は自分で調べること

回が進むほど、説明が雑になっていくかもしれません Webで調べるときに正しい情報にリーチできるようなアドバイスをします

実施形式

Web講習会は日程調整の手間を省くため、YouTube Liveを利用して行います

予定が合う人

→ ライブ動画を視聴

予定が合わない人・倍速視聴したい人 → アーカイブ動画を視聴

毎週土曜日の昼の配信を基本スケジュールとします

講習会の内容に関する質問は以下の方法で受けつけます

- YouTube Liveのコメント
- Slack #tutorial-web への投稿 (Titech App Project)

分報のすすめ

以下のように、なんでも気軽に #times_{自分の名前} に投稿

- 自分が今やっていること
- エラー内容や困っていること
- 見ている記事、ドキュメントのページ
- ・ちょっとしたメモ

他の人のチャンネルを覗いて、助けてあげられそうなら反応してあげ ましょう

講習会期間中、Arthurはできる限り確認します (メンションやレビュー依頼もお気軽に)

資料の公開

https://arthur1.github.io/tutorial-web-2021/courses/advanced/

上記のWebサイトで資料を公開します



目標と前提

HTML / CSS / JavaScriptの基本 HTTP通信とWebサーバの役割

ワールドワイドウェブ基礎



React / Next.js / TypeScriptを用いた モダンなフロントエンド開発

ワールドワイドウェブ発展

シラバス

- 1. Webの実装パターンの歴史
- 2. Node.js
- 3. TypeScript
- 4. REST API
- 5. React (1)
- 6. React (2)
- 7. Next.js

Windowsユーザへ

開発にWindows PCを利用する予定の人は、WSL2の導入を強く推奨します

WSL = Windows Subsystem for Linux 2020年5月にリリースされたバージョン2を使ってください Linuxディストリビューションは自由ですが無名でないものが望ましいです

WSL2環境に関してはサポートできますが、それ以外のサポートは保証できません

情報工学系の演習系講義もこのような条件のものが多いです